

第8章・エステティック

問題1	③	a フェイシャルパック後は取れん化粧水を用いる。b マッサージの前に化粧水を塗布するとよいという記載は教科書にはない。
問題2	③	①強擦法②叩打法④軽擦法
問題3	②	脂性肌に用いる。
問題4	④	
問題6	④	
問題7	④	マッサージ後にパックを行うのが一般的である
問題8	③	無理に押し付けたりしないように注意する
問題9	④	
問題10	③	眉頭から生え際へ
問題11	③	①フェイシャルパックは、マッサージの後に行う。②ピールオフタイプのパック剤は、赤外線当てて乾燥を助ける。④パック後は、化粧水→乳液・美容液
問題12	②	①カップリングは、手掌をくぼませて行う打法。③ピーディングは、こぶしで行う打法。④リングは揉擦法の一つでしぼる方法
問題13	④	①ピールオフタイプのパック剤は放置後皮をむくようにはがしとる。②パック剤を塗布すると、皮膚の表面から蒸発する水分がパック剤との間にたまり、角質を柔軟にする。③ピールオフタイプは健康な角質に負担をあたえてしまうので、使用回数に十分注意して行う。
問題14	①	②ナックリング ③ローリング ④サーキュラーピーディング
問題15	②	①両手または指で筋肉をつまみ上げ、筋肉をゆるめるように絞る揉擦法 ③こぶしで炎を描きながら押印するように行う揉擦法 ④手掌をくぼませて行う打法
問題16	①	②乾燥肌はきめが細かく、皮膚が薄い ③脂性肌は、毛穴が開いている ④混合肌は、顔の部位により皮脂の分泌が異なるため、部分的に毛穴が大きい

第9章・ネイル技術

問題1	②	①ペディキュアは③アーティフィシャルネイル④ネイルケア
問題2	①	キューティクルにはキューティクルリムーバーを塗り、柔らかくし取り除く。
問題3	①	②フィラー/アクリルパウダー③シルクラップ/リンネやペーパー④エメリーボード/爪の長さ、形を整えるもの
問題4	①	①はりばあ技術のひとつ
問題5	③	①スクエア②ラウンド④ポイント
問題6	①	②キューティクルニッパー/キューティクルを切るハサミ③エメリーボード/爪の長さ、形を整えるもの④トップコート/エナメル塗布後に塗る液
問題7	①	②キューティクルニッパー/キューティクルを切るハサミ③ベースコート/エナメル塗布前に塗る液④ネイルバッファ/爪の表面を磨くもの
問題8	①	②ネイルバッファ/爪の表面を磨くもの③キューティクルニッパー/キューティクルを切るハサミ④キューティクルプッシャー/小皮を起こしあげるもの
問題9	①	Bはネイルプレート(爪甲) Cはルヌーラ(爪半月) Dはキューティクル(小皮)
問題10	③	a オーバルは、サイドとトップが丸い卵型 b ラウンドは、サイドがストレートでトップが丸い自然な形
問題11	④	エメリーボードは爪の長さや形を整えるもの
問題12	②	①エナメル除去は、エナメルリムーバーを使用③ネイルバッファは爪の表面を磨くもの④ベースコートはカラーエナメル塗布前に塗るもの
問題13	④	①往復してはいけない。サイドからセンターへかけるか、一方方向へかける。②油分処理は初めにする。③2度塗り、中央、両サイドの順
問題14	③	Aはフリーエッジ(爪先) Bはハーフムーン(爪半月) Dはエポニキウム(爪上皮)
問題15	④	b チップオーバーレイ c スカルプチュア
問題16	③	①スクエアオフ ②ラウンド ④ポイント
問題17	①	②ラウンドとはサイドはストレートでトップが丸い ③オーバルとはサイドとトップに丸みをもたせた卵形 ④ポイントとは、先にいくにつれて細くなったアーモンド形。
問題18	②	トゥセパレーターとは、エナメルが塗りやすいように指の間を開くために装着するもの
問題19	①	②カラーリングは爪表面の油分処理をした後に塗布する。③カラーエナメルは、まずフリーエッジの先を塗る。中央、両サイドの順番。④はみ出したカラーは、コットンを薄く巻いたウッドスティックにエナメルリムーバーをしみ込ませ、皮膚に付いているエナメルをきれいにふき取る。
問題20	④	①エメリーボードは、爪の長さや形をととのえるもの。②ネイルニッパーは、爪を切るはさみ。③ウッドスティックは、コットンを巻き、油分やカラー除去などに使用する木の棒。
問題21	②	①エナメルをふき取るものはエナメルリムーバー。キューティクルリムーバーはキューティクルを柔らかくするもの ③ネイルバッファは爪の表面を磨くもの ④ベースコートは、カラーエナメル塗布前に塗るもので、色素沈着を防ぎ、カラーエナメルの着色をよくする。
問題22	④	①ネイルバッファで爪の表面を磨く ②油分処理の後、ベースコート、カラーエナメル、トップコートの順で塗布 ③フリーエッジの先→中央→左側→右側の順で2度塗り
問題23	②	アートチップはアートが施されているチップを、爪に両面テープなどで一時的に装着する技術
問題24	②	①キューティクルプッシャーはキューティクルを押し上げるもの。③ウッドスティックは、コットンを巻き、油分やカラーの除去などに使用する木の棒。④フッドパドルは、足の裏などの硬い角質を処理する際に使用するもの。
問題25	④	ラウンドとは、サイドはストレートで、トップが丸くカットされている最も自然な形。
問題26	③	①爪を切るのはネイルニッパー。キューティクルニッパーはキューティクル(爪小皮)を切るためのハサミ ②ストレスポイントは、一番弱い部分なので、ファイルはかけてはいけない。④油分処理は、ベースコートを塗布する前に行う。

第10章・メイクアップ

問題1	③	①トナーは化粧水を塗り水分補給すること②フェイシャルパック（ウォッシュオフタイプ）④リクレンジングとは、一度汚れをふいた後、ふきの残りの部分の汚れを再度コットンに水を加え完全に落とす技術
問題2	②	①ブラシは天然毛が優れている③ツイザーは眉毛を剃るものではなく、抜く器具④スクリュブラシはマスカラの量を調節するために使用するもの
問題3	②	①目元はアイシャドーのテクニック③プッシュ④パッティング
問題4	③	眉頭は小鼻の内側と外側の延長線の間
問題5	②	くっきりしたラインを描けるのはリキッドタイプのアイライナー
問題6	②	①汗の汚れは、水溶性③はトナー④はプロテクティング
問題7	③	①クリームタイプは油分がやや多く、カバー力もあり、しっかりとした皮膚感を作ることができる②スティックタイプは油性タイプの固形で油分が多く、カバー力に富んでいる④プレストパウダータイプは、油分が少なくカバー力、耐久性も弱い。文章はケーキタイプ
問題8	③	首に塗る場合は上から下へ
問題9	④	①クリームタイプ②ケーキタイプ③スティックタイプ
問題10	④	b類は動きが少なく厚めに塗る c 動きが激しい部位は薄めにぬる
問題11	③	
問題12	②	a は化粧水 d は乳液
問題13	④	上唇から描く、口角から中央に向かって描く
問題14	②	
問題15	①	②薄め ③薄め ④厚め
問題16	②	①高さを強調する③ローライト効果のある暗い色の頬紅を入れ、立体的に見せる。④ファンデーションを固定し、崩れにくくし、肌に透明感を出す。
問題17	②	眉山は、黒目の外側と目尻の延長線の間が基本
問題18	②	皮膚の動きの少ない頬は、多めに塗る。
問題19	②	①カバーホワイト ③パウダリング ④ローライト
問題20	③	薄めに塗る
問題21	②	①ケーキタイプは、水性タイプの固形で汗に強く、カバー力、耐久性に富む。③プレストパウダータイプは、パウダータイプの固形で、油分が少なく、カバー力、耐久性も弱い。④スティックタイプは、油性タイプの固形で、カバー力に富む。
問題22	④	①プレストパウダータイプは、油分が少なくカバー力、耐久性も弱い、手軽に肌を整えることができる。厚みをつけにくい。②ケーキタイプは、汗などに強く、カバー力、耐久性に富み、多少の厚みをつけることができる。③クリームタイプは、油分はやや多く、カバー力もあり、しっかりとした皮膚感を作ることができる。
問題23	①	軽いタッチで上からはたくスポンジの使い方をパッティングという。
問題24	③	アーチ型の眉は、やさしくソフトな印象になる。知的でシャープな印象になるのは、ストレート型の眉である。
問題25	④	①アイブロウペンシルは、芯が柔らかすぎると濃く描けて不自然になる。②眉を描く順番は、眉山から目尻→眉中から眉山→眉頭から眉中の順で、最初に左右の眉山の高さを決めてから描き始めると、バランスがとりやすくなる。③眉山は黒目の外側と目尻の延長線の間が基本である。
問題26	④	①頬は、皮膚の動きが少ないので厚めにぬる。②鼻の周りは、皮脂の分泌が多いので薄めに塗る。③頬は厚く、その他は薄く塗ると、立体的で崩れにくい仕上がりになる。
問題27	④	アレルギーは、施術中だけでなく、施術後しばらくしてから、違和感を感じる場合もある。
問題28	③	①カウンセリングは来店前の確認時、施術前、施術後の3回行う。②カウンセリングは体調、体質、エクステの長さや本数などについても行う。④アレルギーは即時型と遅延型がある。
問題29	③	①施術中、グルーが乾くまではコンタクトは使用できない。②リペアは個人差はあるが、2～3週間。④技術を重ねていくうちに発病することもある。
問題30	①	初回の施術でも発症する場合がある。また施術を重ねていくうちに発症することもある。
問題31	③	①眉頭に近い部分は、立体感が損なわれてしまうのでカットしないこと。眉尻に近くなるに従って短くカットしていくと良い。②眉を描く順序は、眉山から目尻、眉中から眉山、眉頭から眉中の順。④ドローイングという。
問題32	③	①まつ毛の毛周期は、3週間から4ヶ月。②成長初期は避ける。成長期の終わりから退行期が始まる時期の装着が最適。④リペアは、個人差があるが、概ね2～3週間。
問題33	①	②眉山は、黒目の外側と目尻の延長線の間。③シェーディング④アーチ型は眉山から目尻にかけて丸みをもたせる。直線的に描くデザインはストレート型。
問題34	③	①成長初期は避ける。②地肌から1～2mm離して装着する。④施術中、グルーが乾くまではコンタクトは使用できない。

第11章・日本髪

問題1	②	
問題2	③	
問題3	②	根を一番につくり、髷を最後につくると覚えるとよい。
問題4	④	①前挿し②飾り櫛③後ろ挿し
問題5	①	②未婚者髷 ③現代、七五三に用いられる ④少女が結うもの
問題6	④	
問題7	②	
問題8	①	簀迫（はこせこ）は、花嫁や七五三の晴着の際に使用する小物。
問題9	②	末広は扇子の別名。
問題10	④	①現代の日本髪の最初の型とされているのは、兵庫髷である。②若い人は大きくし、年齢とともに小さく結う。③未婚者髷といわれているのは高島田である。
問題11	②	①日本髪は基本的に、前髪、左右の髷、髷の5つの部分からなる。③髷の下端は顎の位置にそろえるか、少し上がった位置にするのが標準である。④日本髪の装飾品には、根がけ、平うち、簪などがある。簀迫は和装小物の一つであり、懐（ふところ）に挟んで持つ装飾具のことである。

問題12	④	
問題13	①	未婚者鬘ともいわれる。
問題14	②	①高島田ではなく兵庫鬘 ③丸鬘は明治時代になると、既婚女性の印のようになった ④桃割れは、明治時代に入ってから少女が結うようになった

第12章・着付けの理論と技術

問題1	①	②慶事の際は白③男性の着物は着丈で出来ているのでお端折はない④男性の着付けでは首に添わせてきせ、衣紋は抜かない
問題2	①	②本だたみ③夜具だたみ④長襦袢
問題3	①	②単衣は裏地のない着物のこと③共八掛は④比翼仕立ては
問題4	①	②帯枕③帯揚げ④帯留め
問題5	④	①は名古屋帯②は丸帯③は兵児帯
問題6	②	両足が分かれているものが馬乗り袴、分かれていないものが行燈袴
問題7	③	
問題8	④	比翼襟は、着物を2枚重ねて着ているように見えるよう、二重に仕立てた襟
問題9	①	
問題10	②	両足が分かれているものが馬乗り袴、分かれていないものが行燈袴
問題11	②	aは帯締め dは帯留め(丸ぐけは帯締めのこと)
問題12	③	半幅帯は通常の帯幅の半分(15cm)の帯の事。
問題13	②	振袖・留袖は礼装 紬はおしゃれ着、カジュアル
問題14	②	比翼仕立てという。
	①	裾まわしは袷の着物の裾と袖口につける裏地のことなので、裏地全体ではない。
問題15	③	明治時代の女学生の制服として着られていたものは袴
問題16	②	
問題17	③	
問題18	④	b帯の折り幅は、16～17cmが一般的である。c帯の折り幅は、若い人は広くする。
問題19	④	①女性の腰ひもは、体の中心をさけて結ぶ。②男性の着物には、身八つ口がない。③補整は肌襦袢を着た上からする。
問題20	③	①帯留めは、帯締めにつける装飾品。②帯締めは、帯がほどけないように、帯の上から締めるひも。帯枕の上にかけて用いるものは帯揚げという。④花嫁や女子の七五三の晴れ着のときに用いられる装飾具。末広がりの別名である。
問題21	②	
問題22	④	①留袖では、帯揚げ・帯締め・半襟・足袋は必ず白を用いる。②帯の折り幅は、16～17センチが一般的だが、小柄な人、年配向きにはやや狭く、大柄な人、若い人の場合はやや広めにする。③体型補整は、肌襦袢の上から行う。
問題23	④	
問題24	③	①色留袖は礼装である。②黒留袖は既婚者が着用する。④付け下げの模様は、上前、後ろ身ごろ、肩、袖、胸に配置されている。
問題25	②	①ベルライン ③ミディドレス ④マーメイドライン
問題26	②	
問題27	①	小紋はカジュアル着
問題28	①	身八つ口は男物着物にはない。